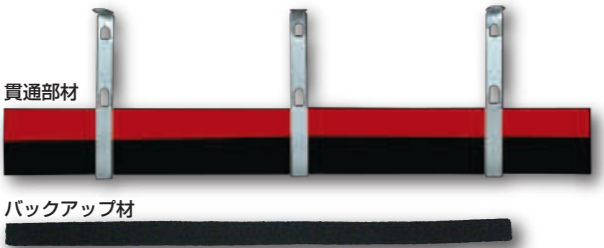



ご使用の前に必ずお読みください。

製品構成と各部の名称

床用		床用	床用貫通部材.....1コ バックアップ材.....1コ 施工手順書.....1枚
壁用		壁用	壁用貫通部材.....1コ バックアップ材.....2コ ALGテープ.....2枚 施工手順書.....1枚

注記 シリコン系シーリング材は本製品に含まれません。

●適用範囲 (1)

項目	適用範囲			
	床貫通		壁貫通	
	直管	継手	直管	
躯体	種類	ALC/RC造		
	厚さ	100mm以上		
	開口径	φ150mm以下	φ160mm以下	φ150mm以下
	充填材	バックアップ材+シリコン系シーリング材 (JIS A5758適合品)		
	配管と開口部の隙間	7.5~12mm		
配管	管種	音ナインVU、VP/音シラスVU ⁽²⁾		
	呼び径	50、65、75、100		

注⁽¹⁾ 令8区画、中空床、中空壁は適用外です。

注⁽²⁾ 床貫通継手の音シラスは国土交通省の大臣認定のみの適用となります。

●適用開口径

区画貫通部	配管	呼び径	開口径	
			ホールソー径 ALC造 (mm)	ボイド管呼び径 RC造 (mm)
床	直管	50	90,95	90
		65	105,110	100
		75	120,125	—
		100	150	—
	継手	50	100	90
		65	110,115	—
		75	125,130	125
		100	155,160	150
壁	直管	50	90,95	—
		65	105,110	—
		75	120,125	—
		100	150	—

床貫通(直管)

床貫通の場合、直管に施工する場合と継手に施工する場合の2種類があります。継手に施工する場合の手順は次ページを参照

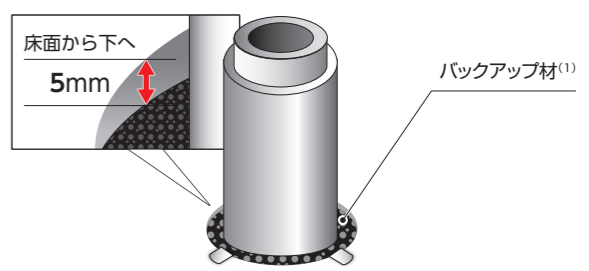
1 配管

音ナイン/音シラスの設置を行う。



4 バックアップ材の埋設

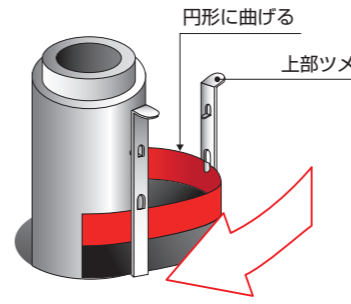
開口部と音ナイン/音シラスの隙間に、付属のバックアップ材を、床面から下へ5mmの位置で埋設する。



注⁽¹⁾ バックアップ材の合せ目が重ならないように施工して下さい。呼び径65の場合、バックアップ材を50mm切断して下さい。

2 貫通部材の取付け準備

貫通部材の取付け前に、開口部周囲の埃・ゴミ等を除去する。上部ツメが外側を向くように、貫通部材を円形に曲げる。



5 シーリング材の充填

バックアップ材の上にシリコン系シーリング材を充填する。充填後、開口部と音ナイン/音シラスの間に隙間の無いことを確認する。



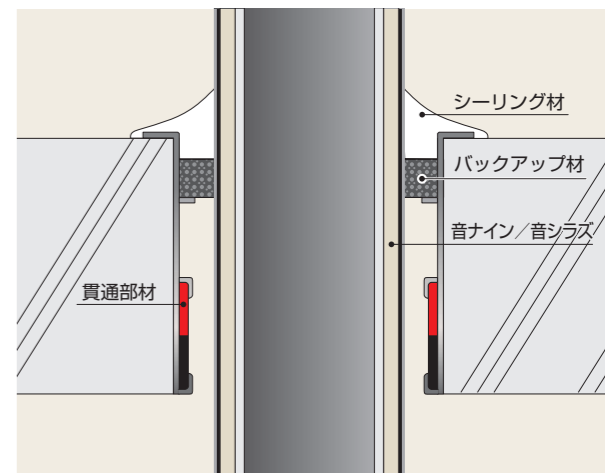
注⁽¹⁾ シーリング材は保持具の上部ツメが隠れるように、充填して下さい。

3 貫通部材の取付け

上部ツメを持ち、床に引っかかるまで挿入する。



標準施工図



防音排水管

防音排水管

床貫通(継手)

1 配管

音ナイン/音シラスの設置を行う。

2 貫通部材の取付け準備

貫通部材の取付け前に、開口部周囲の埃・ゴミ等を除去する。上部ツメが外側を向くように、貫通部材を円形に曲げる。

3 貫通部材の取付け

上部ツメを持ち、床に引っかかるまで挿入する。

注⁽¹⁾ 貫通部材は必ず継手を組付ける前に、取付けて下さい。

4 継手の組付け

継手を組付ける。

5 バックアップ材の埋設

開口部と音ナイン/音シラスの隙間に、付属のバックアップ材を、床面から下へ5mmの位置で埋設する。

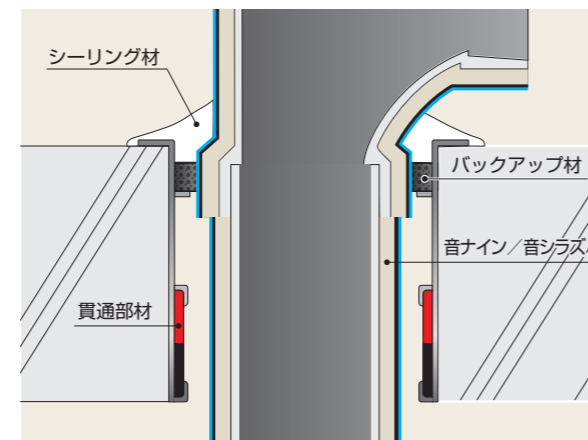
注⁽¹⁾ バックアップ材の合せ目が重ならないように施工して下さい。呼び径65の場合、バックアップ材を50mm切断して下さい。

6 シーリング材の充填

バックアップ材の上にシリコン系シーリング材を充填する。充填後、開口部と音ナイン/音シラスの間に隙間の無いことを確認する。

注⁽¹⁾ シーリング材は保持具の上部ツメが隠れるように、充填して下さい。

標準施工図



壁貫通

1 貫通部材の巻付け

注⁽¹⁾ 貫通部材は壁表面から内部に向かって15mmの位置までスライドして下さい。
注⁽²⁾ 貫通部材の向きは、赤黒で問いません。

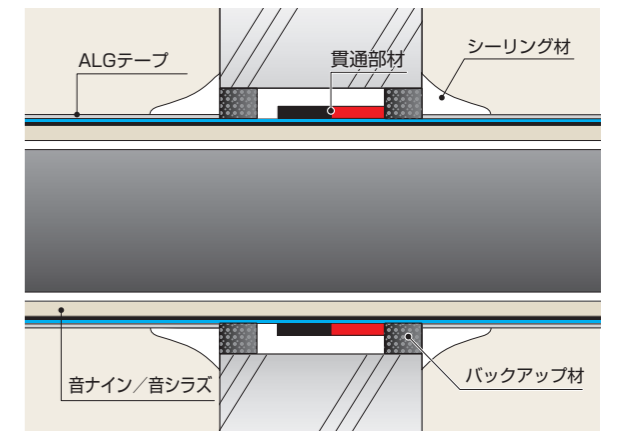
2 ALGテープ巻き

3 バックアップ材の埋設

注⁽¹⁾ バックアップ材の合せ目が重ならないように施工して下さい。呼び径65の場合、バックアップ材を50mm切断して下さい。

4 シーリング材の充填

標準施工図



⚠ 取扱注意点

- ① 開口径は配管サイズに応じて異なりますので、ご注意下さい。
- ② 開口部に配管する際、管と開口部間の隙間は最低7.5mm確保して下さい。隙間が7.5mm未満の場合、貫通部材を挿入できなくなる恐れがあります。
- ③ 適用配管以外は施工できません。適用する管の詳細は認定書、評定書をご確認下さい。
- ④ 0℃以下の環境下では施工しないで下さい。
- ⑤ シーリング材は、シリコン系シーリング材(JIS A 5758 適合品)以外は使用しないでください。
- ⑥ 区画貫通部の隙間の処理は、モルタルの埋戻しではありませんので、ご注意下さい。
- ⑦ 区画貫通部以外に使用しないで下さい。
- ⑧ 保管は、屋外、暖房機器などの熱源を避け、涼しいところに保管して下さい。